様式第1号（第10条関係）

令和　　年　　月　　日

公益財団法人東京しごと財団
理 事 長　殿

個人の住所地
※個人事業主のみ
（住民票どおりに記入）

企業等の所在地　〒
（企業等の所在地、名称、代表者役職、氏名は法人登記簿どおりに記入）

企業等の名称

代表者　役職

代表者　氏名

令和　8　年度　暑さに配慮した職場環境づくり奨励金　支給申請書

暑さに配慮した職場環境づくり奨励金（以下「奨励金」という。）について、奨励金支給要綱第10条の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

1　奨励金対象事業取組期間

エントリー通過回	取組期間
第　　回	令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日

2　奨励金支給申請額

金　　200,000　　円

3　企業等の概要

（フリガナ）		
企業等の名称		
業種	大分類	中分類等
常時使用する従業員数	人　　（うち都内勤務　　人）	

【記入上の注意】

・複数の事業を営んでいる場合は、「主たる事業」に該当する業種を記入してください。

・「常時使用する従業員数」には、常時使用する従業員の要件に該当する者（労働基準法第20条の規定に基づく「予め解雇の予告を必要とする者」）であれば、パート・アルバイトも含まれます。

※常時使用する従業員とは、労働基準法第20条の規定に基づく「予め解雇の予告を必要とする者」をいいます。「予め解雇の予告を必要とする者」の要件に該当する従業員であれば、パート・アルバイトも含まれます。（なお、会社役員及び個人事業主は予め解雇の予告を必要とする者に該当しないため、「常時使用する従業員」には該当しません。派遣労働者も含まれません。）　＜参考＞　労働基準法（昭和22年法律第49号）

（解雇の予告）

第20条　使用者は、労働者を解雇しようとする場合においては、少くとも30日前にその予告をしなければならない。30日前に予告をしない使用者は、30日分以上の平均賃金を支払わなければならない。但し、天災事変その他やむを得ない事由のために事業の継続が不可能となつた場合又は労働者の責に帰すべき事由に基いて解雇する場合においては、この限りでない。

2　前項の予告の日数は、1日について平均賃金を支払つた場合においては、その日数を短縮することができる。

3　前条第2項の規定は、第1項但書の場合にこれを準用する。

第21条　前条の規定は、左の各号の一に該当する労働者については適用しない。

但し、第1号に該当する者が1箇月を超えて引き続き使用されるに至つた場合、第2号若しくは第3号に該当する者が所定の期間を超えて引き続き使用されるに至つた場合又は第4号に該当する者が14日を超えて引き続き使用されるに至つた場合においては、この限りでない。

一　日日雇い入れられる者

二　2箇月以内の期間を定めて使用される者

三　季節的業務に4箇月以内の期間を定めて使用される者

四　試の使用期間中の者

・会社役員、個人事業主及び派遣従業員は「常時使用する従業員」に計上しないでください。

4　申請企業等の担当者連絡先

所属部署名・役職	
(ﾌﾘｶﾞﾅ)	
担当者氏名	
代表 電話番号	
連絡先 電話番号	
メールアドレス	

※必ず連絡の取れる連絡先を記入すること。Jグランツ申請画面の「申請担当者の連絡先」と同じ連絡先を記入すること。

5　委任　（申請手続を**社外**に委任する場合のみ記入）

☐　本奨励金の支給申請にかかる手続を代理人に委任する

＜誓約事項＞

下記の者を代理人とし、本奨励金の支給申請に係る手続きを委任します。ただし、貴財団から問い合わせがあった場合、申請者として誠実に対応し、虚偽なく回答することを誓約いたします。

＜代理人＞

代理人所属 （法人名、事務所名）	
代理人氏名 ※手続きの担当者	
代理人所属先 住所	
代理人 電話番号	
代理人 メールアドレス	

様式第2号（第10条関係）

令和　　年　　月　　日

企業等の名称

事業所一覧

1　登記上の本店

所在地	常時使用する従業員数
	人

2　熱中症予防対策に資すると認められる物品を購入した都内事業所　□　登記上の本店と同じ

事業所の名称	所在地	常時使用する従業員数
		人

3　上記以外の都内事業所

事業所の名称	所在地	常時使用する従業員数
		人
		人
		人
	合計	人

4　都外事業所

事業所の名称	所在地	常時使用する従業員数
		人
		人
		人
	合計	人

常時使用する従業員数の合計　　人

【記入上の注意】

・雇用保険適用事業所に限らず、すべての事業所の名称・所在地を記入すること。
（事業所数が多い場合は別紙でも可。別紙の場合は様式自由。海外の事業所は記入不要。）

・常時使用する従業員数の合計の値は、様式第1号表紙に記載した常時使用する従業員数と一致させること。

様式第3号（第10条関係）

令和　　年　　月　　日

企業等の名称

熱中症を生ずるおそれのある作業を行う職場に係る
取組前の状況報告書

1 熱中症を生ずるおそれのある作業を行う職場（以下「高温多湿作業場所」という。）の概要

（1）高温多湿作業場所の作業・種類等　※【屋外】【屋内】のいずれか**最も当てはまるものを1つだけ**選択して下さい。

【屋外】	【屋内】
☐ 建設・土木工事現場	☐ 工場（具体的に：　　）
☐ 屋外製造現場	☐ ボイラー室　☐ 倉庫・物流センター
☐ 屋外清掃	☐ 溶接現場　☐ 廃棄物処理施設
☐ 警備・交通誘導	☐ クリーニング所
☐ 運送・配送	☐ 厨房 *窯等高温の熱源を発する調理設備等がある
☐ ビルメンテナンス等屋外点検・検針業務	☐ その他（具体的に：　　）
☐ その他（具体的に：　　）	

（2）上記は、「事業所一覧」(様式第2号)に記載の事業所ですか。　※当てはまるもの1つだけ選択してください。

☐ はい　（事業所の名称：　　）

☐ いいえ　（具体的な高温多湿作業場所：　　）

（3）高温多湿作業場所で行う作業内容　※具体的に記入してください。

2 高温多湿作業場所の取組前の状況

（1）高温多湿作業場所で従業員等が実際に働いている様子が分かる写真データ（jpeg形式_20MB以下）をJグランツ上にアップロードしてください。

※次の内容がわかるものを添付してください（必要に応じて複数画像をアップロードしてください）。

・高温多湿作業場所の全体がわかるもの

・高温の熱源を発する設備等がある場合はその設備の設置状況がわかるもの

☐ 確認しました。

（2）高温多湿作業場所における現状及び課題を記入して下さい。

※高温多湿作業場所が【屋内】の場合、次頁も記入してください。

以下は、高温多湿作業場所が**屋内の場合のみ記入**して下さい。

3 高温多湿作業場所の室温度について

（1）高温多湿作業場所の温度測定

① 測定の記録

※WBGT指数計が無い場合、室温度を記入して下さい。

※冷房、通風等適当な温湿度調整を行っている状況で測定して下さい。

高温多湿作業場所の事業所の名称	
測定日時	令和　　年　　月　　日
	:
湿球黒球温度（WBGT値）	(℃)
室温度	(℃)

湿球黒球温度（WBGT値）28℃以上又は室温度31℃以上の作業場所が取組の対象となります。

② 写真の添付

実際に測定した際のWBGT指数計（又は温度計）の写真（jpeg形式_20MB以下）をJグランツ上にアップロードして下さい。

※次の内容がわかるものを添付してください（必要に応じて複数画像をアップロードしてください）。

・測定に使用した環境測定器の種類がわかるもの

・測定に使用した環境測定器を設置した場所がわかるもの

・実測値がわかるもの

☐ 確認しました。

（2）労働安全衛生規則第606条の温湿度調整を行ってもなお、室温31℃又は湿球黒球温度(WBGT値)28℃を下回らない合理的な理由について記入して下さい。

様式第4号（第10条関係）

令和　　年　　月　　日

企業等の名称

令和　8　年度　暑さに配慮した職場環境づくり奨励金
取組結果報告書

1　奨励金対象事業の取組状況

高温多湿作業場所において、以下（1）及び（2）について行った取組及び成果について記入してください。

取組項目	取組内容及び成果
(1)WBGT値の活用	
①WBGT値（暑さ指数）の測定	
②WBGT基準値に基づく評価等	
(2)熱中症予防対策	
①作業環境管理 ・ WBGT値の低減等 ・ 休憩場所の整備等	
②作業管理 ・ 作業時間の短縮等 ・ 暑熱順化対応等 ・ 水分及び塩分の摂取 ・ 服装等 ・ 作業中の巡視実施	
③健康管理 ・ 健康診断結果に基づく対応等 ・ 日常の健康管理等 ・ 労働者の健康状態の確認 ・ 身体の状況の確認	
④労働衛生教育 ・ 熱中症の症状 ・ 熱中症の予防方法 ・ 緊急時の救急処理 ・ 熱中症の事例	
⑤救急措置 ・ 緊急連絡網の作成及び周知	

※奨励金対象事業の取組として購入した物品を導入した成果についても併せて記入してください。

2 熱中症予防対策に資すると認められる物品（以下「物品」という。）の概要

以下では、支給要綱第6条第2号に基づき、奨励金対象事業の取組として購入した物品（複数ある場合は代表的なもの1つ）について記入して下さい。

（1）物品の種類について　※当てはまるものひとつに☑をつけて下さい。

①高温多湿作業場所でのWBGT値の測定に係る機器
□ WBGT値測定器（日本産業規格（JIS）Z8504）
□ WBGT値測定器（日本産業規格（JIS）B7922）
②高温多湿作業場所のWBGT値を低減させる機器等
□ ミストファン　□ スポットクーラー
□ 冷風機　□ 除湿器
□ その他　（　　）
③高温多湿作業場所での労働者の身体冷却等効果がある用品等
□ 電動ファン付作業服　□ 水冷服
□ 遮熱ヘルメット　□ 冷却ベスト
□ その他　（　　）
④高温多湿作業場所での労働者の熱中症予防対策に特化した深部体温上昇検知等の機能がある機器
□ 心拍等身体データ計測器
□ その他　（　　）

（2）物品の購入日（注文日・契約日）を記入して下さい。

令和　　年　　月　　日　※支払等関係書類に記載の購入日（注文日・契約日）を記入

（3）物品の設置・使用状況について

①写真の添付

物品の設置・使用状況がわかる高温多湿作業場所の写真（jpeg形式_20MB以下）をJグランツ上にアップロードして下さい。

※次の内容がわかるものを添付してください（必要に応じて複数画像をアップロードしてください）。

・高温多湿作業場所の全体がわかるもの

・物品の設置状況がわかるもの

□ 確認しました。

写真の撮影日時

令和　　年　　月　　日　□ 午前　□ 午後　　時頃　撮影

②物品をどのように活用し、どのような作業を行っているかを記入して下さい。

3 奨励金対象事業の取組結果の分析及び今後の展開・見通し

（1）取組の結果の分析や、取り組んだことにより生まれた成果等について記入して下さい。

（2）成果に対する今後の方針・見通しについて記入して下さい。
